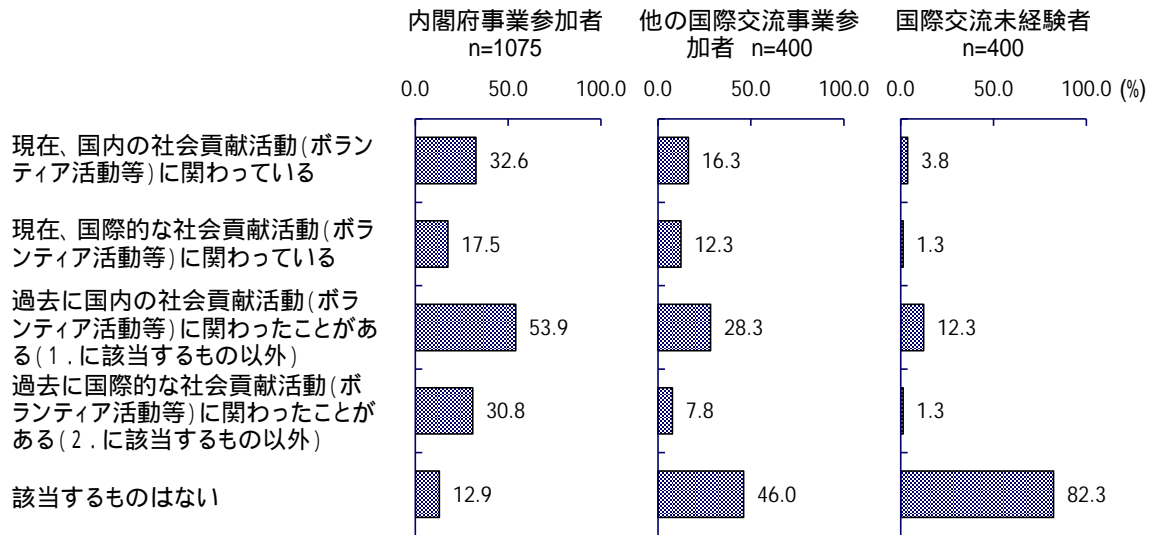


6 社会貢献活動やキャリアの状況

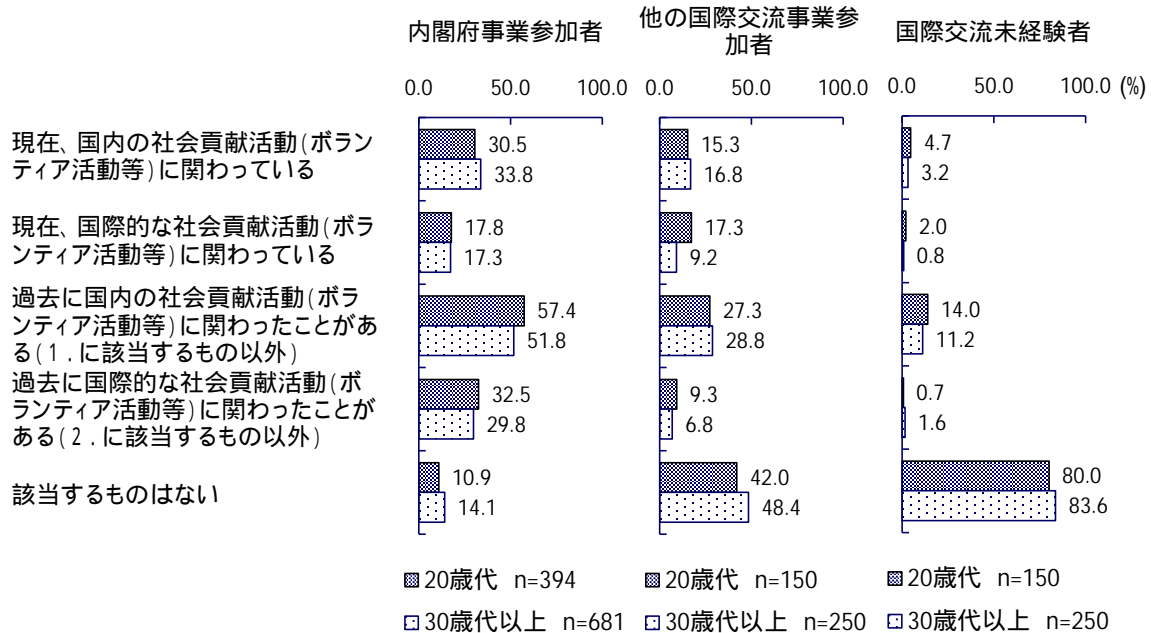
(1) 社会貢献活動への参加状況

問 19 あなたは社会貢献活動（ボランティア活動等）にこれまで参加したことがありますか。該当するものをお選びください。（複数選択可）

図表 6-1 社会貢献活動への参加状況



図表 6-2 社会貢献活動への参加状況 <年齢階級別>



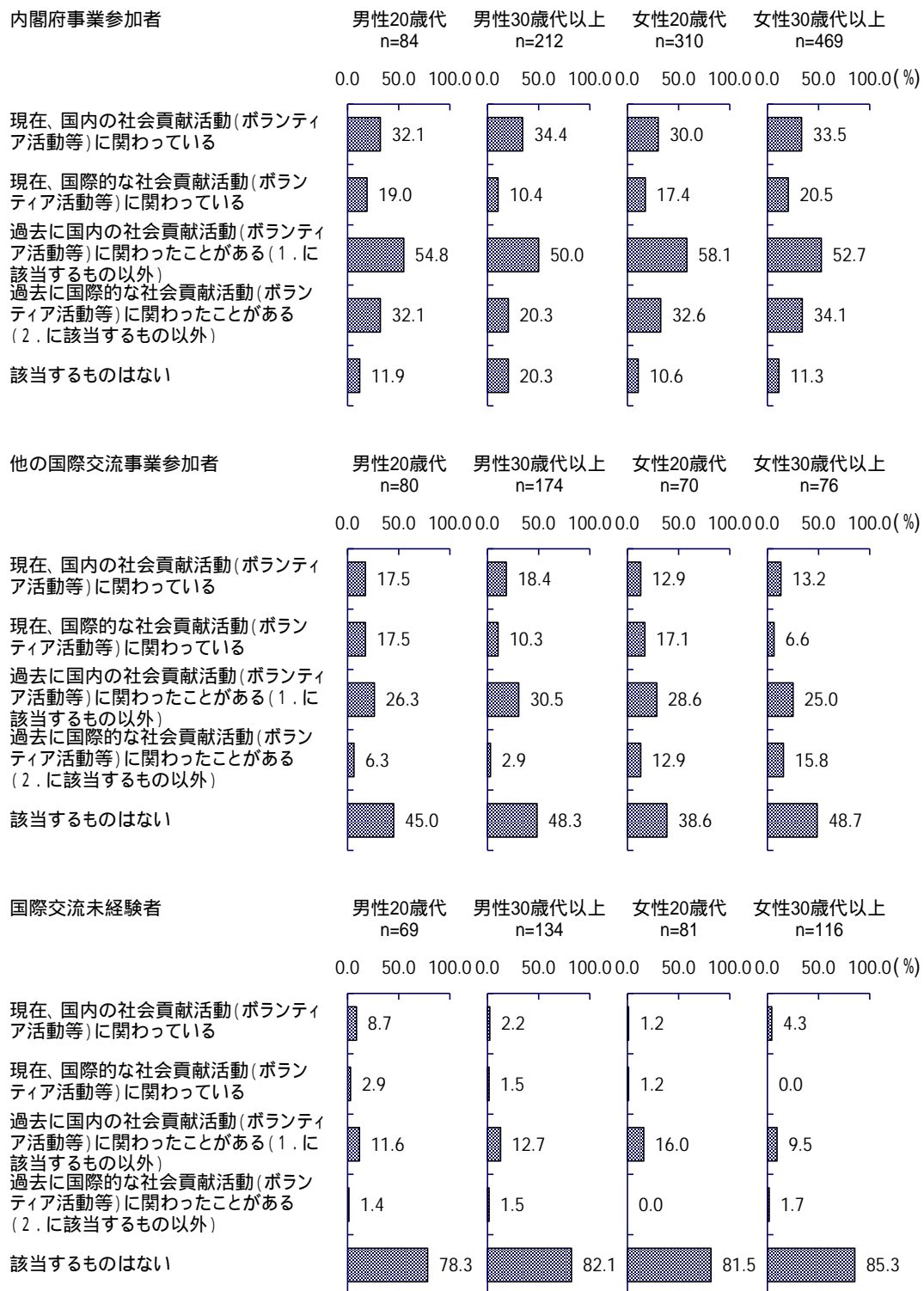
社会貢献活動（ボランティア活動等）への参加について聞いたところ、内閣府事業参加者では「過去に国内の社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わったことがある」が53.9%と半数を超え、次いで「現在、国内の社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わっている」が32.6%となる。他の国際交流事業参加者、国際交流未経験者では「該当するものはない」が多く、各46.0%、82.3%となっている。

年齢階級別にみると、内閣府事業参加者では「過去に国内の社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わったことがある」が20歳代、30歳代以上でともに半数を超えている。

< 検定結果 >

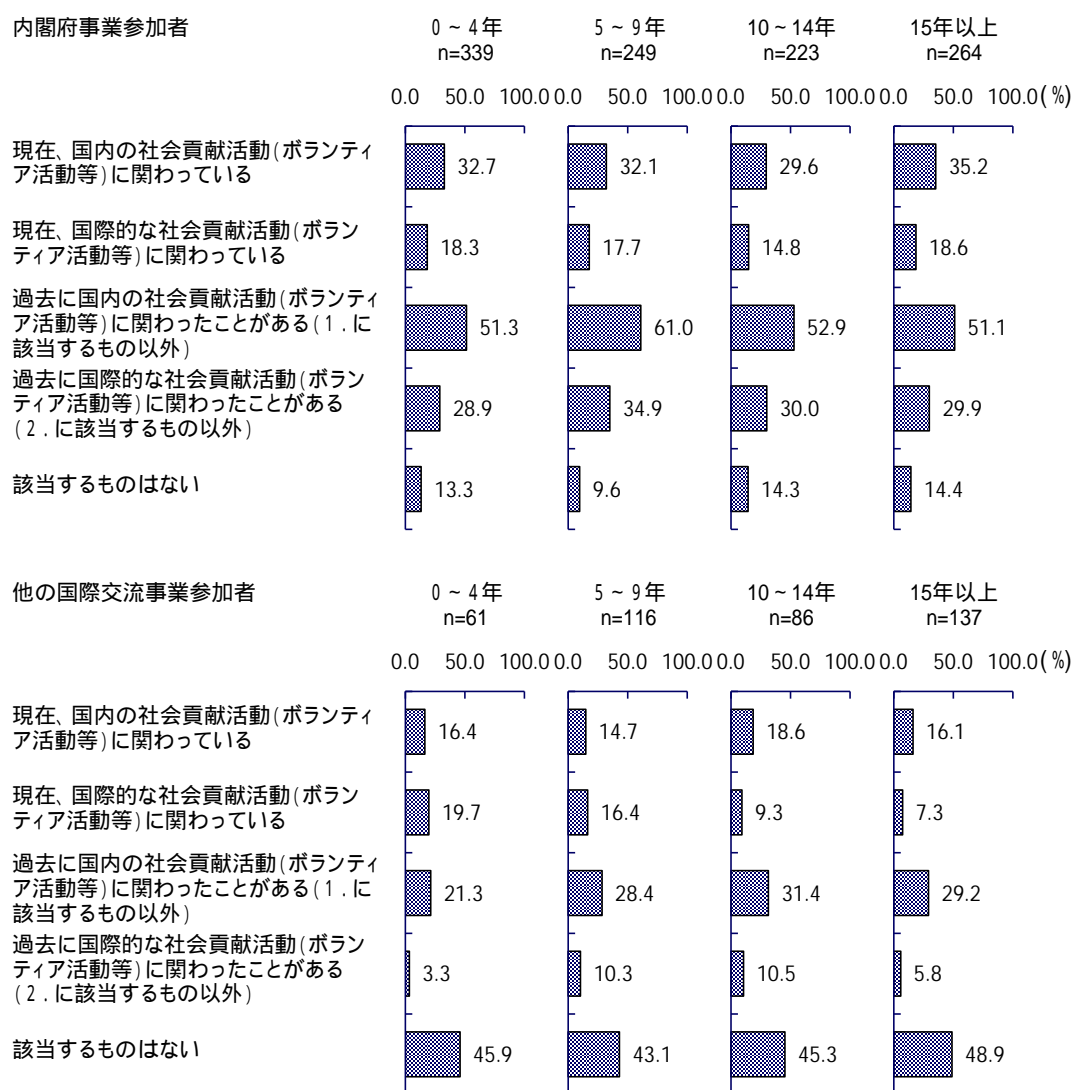
		内閣府 他の事業	内閣府 未経験者	他の事業 未経験者
図表 6-1	現在、国内の社会貢献活動～	$p < 0.01$	$p < 0.01$	$p < 0.01$
	現在、国際的な社会貢献活～	$p < 0.05$	$p < 0.01$	$p < 0.01$
	過去に国内の社会貢献活動～	$p < 0.01$	$p < 0.01$	$p < 0.01$
	過去に国際的な社会貢献活～	$p < 0.01$	$p < 0.01$	$p < 0.01$
	該当するものはない	$p < 0.01$	$p < 0.01$	$p < 0.01$

図表 6-3 社会貢献活動への参加状況 < 性年齢別 >



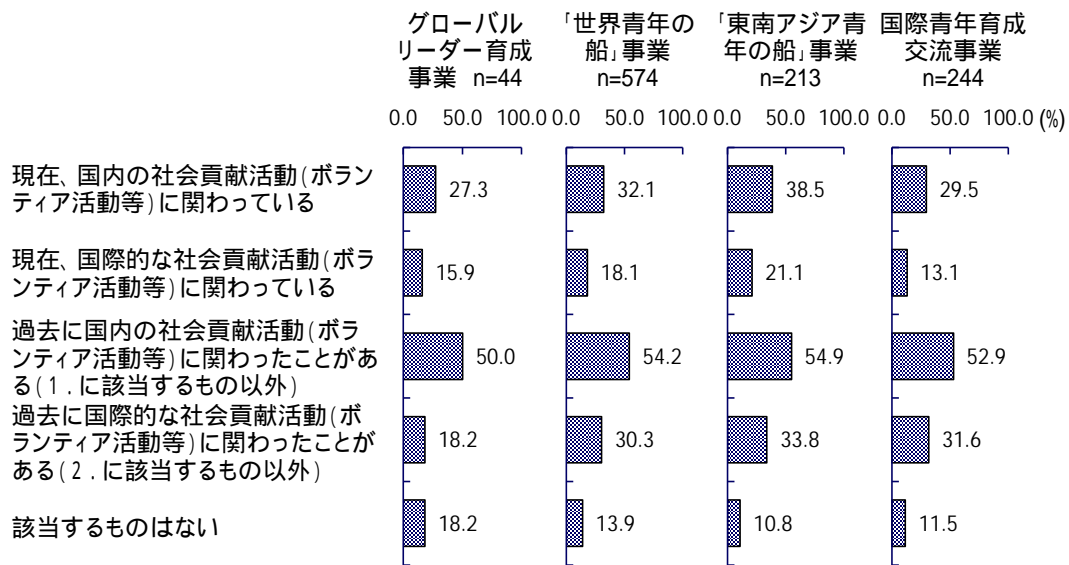
社会貢献活動（ボランティア活動等）への参加状況を性年齢別にみると、内閣府事業参加者のいずれの性年齢においても「過去に国内の社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わったことがある」が半数以上、「現在、国内の社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わっている」が約3割となっている。

図表 6-4 社会貢献活動への参加状況<参加からの期間別>



社会貢献活動(ボランティア活動等)への参加状況を参加からの期間別にみると、「過去に国内の社会貢献活動(ボランティア活動等)に関わったことがある」は内閣府事業参加者の5～9年で61.0%と割合が高くなっている。

【内閣府事業参加者】 図表 6-5 社会貢献活動への参加状況 <内閣府事業種類別>

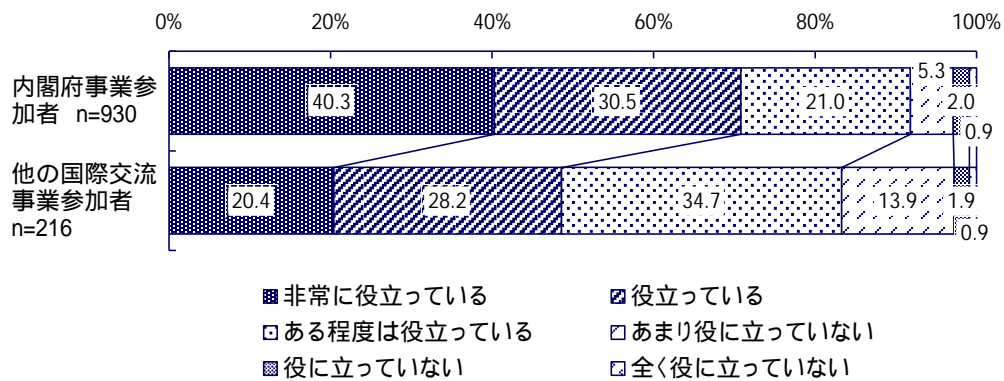


社会貢献活動（ボランティア活動等）への参加状況を内閣府事業種類別にみると、「過去に国内の社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わったことがある」はいずれの内閣府事業においても半数以上となっている。

(2) 社会貢献活動への参画に関して事業参加経験が役立っているか

問 20 【問 19 で 1 ～ 4 を選んだ方のみ回答】社会貢献活動（ボランティア活動等）への参画に関して、事業に参加した経験が役立っていると思いますか。（ は 1 つ）

図表 6-6 社会貢献活動への参画に関して事業参加経験が役立っているか



内閣府事業参加者以外調査票では「他の国際交流事業参加者」が対象。

社会貢献活動（ボランティア活動等）への参画に国際交流事業等への参加経験が役立っていると思うか聞いたところ、「非常に役立っている」が内閣府事業参加者で 40.3%、他の国際交流事業参加者で 20.4%、「役立っている」を合わせると各 70.9%、48.6%となる。

(3) 社会貢献活動の内容、事業参加経験はどのように役立ったか

問 21 【問 19 で 1 ~ 4 を選んだ方のみ回答】参加したことがある社会貢献活動（ボランティア活動等）とはどのようなもので、あなたはどのような役割を果たしましたか。また、社会貢献活動（ボランティア活動等）にあたって、内閣府事業に参加した経験はどのように役立ちましたか。具体的にご記入ください。

内閣府事業参加者以外調査票では、役立った国際交流事業等に参加した経験については「他の国際交流事業参加者」が対象。

内閣府事業参加者 意見例

・IYEO、日本青年国際交流機構での社会貢献活動

- *2012年・IYEO 全国大会（沖縄県）の実行委員長を務めた。現在、「伴走」という視覚障害者のかたのランニングをアシストして、ともに練習することを、自分の練習がてら不定期に行っている。
- *IYEO の受け入れ事業で、コーディネーターを務めました。青年の船で体験した文化の違いを考慮して、プログラムを組むことができたと思います。
- *IYEO を通じて災害への寄付など継続的にしている。IYEO の幹事としての活動も行っている。事業で得たリーダーシップや人間関係を円滑にするなどの能力を發揮している。
- *いわゆる地方 IYEO における活動。留学生との交流や自分の住んでいる地域の理解の促進を行った。内閣府事業で得られた調整能力・交渉力が生かされている。また「あの文化の人達なら、どう考えるか」という他者目線で考える視野の広さも生かされている。
- *自分の住む地域にある IYEO 会員として活動を続けている。具体的には今後参加する予定の青年への説明会やフォロー、広報活動などである。さらに、ブロック大会や会のマネジメント業務、街づくりイベント、イベントの参加などに積極的に参加している。
- *地元の IYEO 主催の受け入れ事業ボランティアに参加をし、市内観光の付き添いをした。関係者とうまく協力して活動できるようになった。

・JICA、青年海外協力隊での社会貢献活動

- *JICA が行う青年海外協力隊として赴任中。コミュニティー開発分野で村落部への情報発信や村落部の社会活動への参加を促す活動をしている。他の人と交渉をしたり、自分の意見の述べる時に内閣府事業の経験が役立っていると感じる。
- *JICA や JF の専門家派遣で海外の文化施設で活動を行った。自分自身がアジアやアラブ地域の国への派遣先で専門家として貢献したと思う。たまたま、同僚がイエメンへ派遣され、世界船の知人のイエメン人に頼んで、現地で同僚の通訳、サポートを依頼した。
- *JICA 日系社会青年ボランティア：現地の生活に溶け込む柔軟性、英語以外の語学を習得しながらコミュニケーションをとっていく力、日本人としてのプライドを持ちその良さを伝えようとする姿勢、世界青年でできたネットワークを生かして情報を収集する力、小さなことでも「何か役に立ちたい」という気持ちを持つこと。
- *青年海外協力隊に参加した。異文化で生活していくための、心構えや現地の人たちとの接し方などが役立った。

・NGO での社会貢献活動

- *NGO にて内閣府事業の国内活動受け入れ、産後女性の生活サポート
- *NGO 発展途上国の現状を知っていることが役に立った。
- *NGO 職員としてアフリカで現地職員と一緒に働いた。
- *インドの NGO でボランティアをしました。具体的には、村の小学校や老人ホームに訪問し、文化紹介をしたり、食事を提供したりしました。この経験は事業参加前でしたが、今後、また何か社会貢献活動に参加したいと考えております。

・NPO での社会貢献活動

- *NPO 法人の職員として、仕事としても国際協力に携わっている。また、ボランティアとしても地元活性化に寄与できるような活動に携わることができるのは、内閣府事業に参加している経験そのものが対外的にも受け入れられ、そして、様々な多文化に対して寛容になれる経験ができたからである。
- *クリーン大作戦、法律改正の NPO でのインターン
- *教育の NPO をたちあげ、そのリーダーとして、キャリア教育をリードし、事業化した。
- *生物多様性保全イベントを会社として、企画・運営している。NPO との協働だが、企画・運営担当として、NPO の担当者と密に連携し、47 都道府県のイベントを円滑に運営できるように心がけている。内閣府事業の経験により、調整力や段取りの仕方等について、役立っていると感じている。

・震災、災害での社会貢献活動

- *『東日本大震災の募金活動』2011年の大学の卒業式において、有志で募金活動をすることとなった。はじめは内閣府事業に参加した同じ大学の仲間数人で始めたものが、気づけば30人ほど集まり、さらにはメンバーの伝で「法学部公認」となった。当日は20万円ほど義援金が集まった。事業に参加した経験が役立ったのは、内閣府事業で知り合った仲間とネットワークを活かし、そして役割分担もスムーズにできたこと、そしてその行動を起こす力であった。
- *国際交流、災害支援、地域貢献
- *震災の時に瓦礫処理など
- *震災後、石巻市でボランティア
- *東日本大震災のとき、MLで呼びかけ物を送った

・留学生や在日外国人への支援などの社会貢献活動

- *ホームステイの学生を自宅に招きました。言葉が通じなくても思いが伝わる経験を事業で経験したので、英語が通じなくても全く不安はなかったです。
- *ボランティア活動：留学生に対する日本語教育、養護施設での勉強補助、病院での介護補助、日本に住む外国人への生活補助支援。経験がどう役に立ったか：相手の立場を理解しようとする姿勢、異なっていて当たり前という考え方、自分の経験をこどもに伝えることで世界に目を向けてもらう事
- *外国人に東京を案内するもの。観光の計画を立て、下見をし、当日も積極的な役割を果たした。内閣府事業へ参加していたからこそ、外国人との交流に慣れていた面はあったと思う。
- *公立小学校における英語の授業で外国人講師のサポートをするボランティア。学校の先生と外国人講師のコミュニケーションを円滑にするための通訳や、実際の授業に出向いて一緒に授業を行っていた。事業のななが具体的に役立ったか、という難しいが、そもそもこういうことをやってみようと思うチャレンジ精神や、問題に直面した時（外国人講師が若く、辞めたいと泣き出したりした）に彼女を何とか助けて問題を解決しようと努力した過程では事業での経験が何かしら役立っていたかも知れません。
- *国内在住の外国人への日本文化や武道指導や医療ボランティア。医療ボランティアは、外国人の受診サポートや貧困や金銭的サポートが必要な人へはNGOや可能なサポートの紹介、健康相談や自宅訪問を実施。外国人が在住する地域の活動に共に参加しコミュニティに参加できるよう支援し地域で彼らをサポートする体制を整えた。自分が行動するだけでなく共に考え行動して行くことの大切さ、文化が違えば思考も違って当たり前、考えや文化、習慣を押し付けるのではなく接点を見つけ理解しあうことが重要であるということ。このような考え方は、日本にずっといると理解できなかったかもしれないと思います。
- *留学生サポートのボランティアを行った。自分が何をしたいかではなく、相手が何を求めているかを考えることができた。

・地域活動などの社会貢献活動

- *会社主催のゴミ拾い活動に毎年参加
- *子どもの国際交流キャンプの引率をした。世界青年の船でのナショナルプレゼンテーションやディスカッションの経験が役に立った。
- *子どもに異文化理解を促す活動を企画実施しました。事業中に体験したことを伝えたり、また事業中に経験した異文化理解の方法を子供たちに実践しました。
- *地域のコミュニティラジオでの仕事を通して、異文化交流・町おこしなどの役割を果たす。幅広い視野を持つことがとても役立っている
- *地域の青年会活動に参加している。活動を行う上で積極的にリーダーシップを取ることができている。
- *地元の国際交流活動のボランティア、企画等。内閣府事業の経験を紹介
- *老人ホームでの演奏会ボランティア。内閣府事業は多くの人と長期間、共同生活だったので、そこでの調整力は多くの人数がいる自分の団体をまとめるのに役立った。
- *社会貢献活動は、ガールスカウト、ボーイスカウトのリーダーとして地域との交流や、奉仕活動を通して、子ども達への指導を行っています。内閣事業に参加したときに学んだアイデンティティーの表現力を言葉で伝えられる経験が役に立っています。

他の国際交流事業参加者 意見例

・震災、災害での社会貢献活動

- * 参加した社会貢献活動：宮城県でのがれき撤去作業。役立った経験：チャンスがあれば参加しようと自発的に思えるようになった。
- * 参加した社会貢献活動：災害復興ボランティア。役立った経験：多様な価値観を尊重する事。
- * 参加した社会貢献活動：阪神淡路大震災と東日本大震災で救援物資の仕分け作業及び避難所への配送に従事しました。役立った経験：国際交流事業の経験があってもなくても関係ない。
- * 参加した社会貢献活動：東日本大震災の復興支援。炊き出し、仮設住宅に住む方々のケア。荷物の運搬等。役立った経験：効率良く行う為のスキームの作成。リーダー、現場監督的な人間の配置と実行。

* 参加した社会貢献活動：震災後のボランティア 役立った経験：渡航先が社会主義国家時代の東欧の一国であったので、当時の体験や内容は国内でのボランティアとは繋がりが薄く、直接的に役立つようなことは感じなかった。

・留学生や在日外国人への支援などの社会貢献活動

- * 参加した社会貢献活動：スポーツの国際大会での語学ボランティア 役立った経験：事業で学んだコミュニケーション力を生かして外国人選手をサポートした。
- * 参加した社会貢献活動：外国人労働者の方の相談を聞いたり、少しの手助けをする。通訳や専門的な知識をわかりやすく説明する。 役立った経験：語学や積極性、多文化を理解しようと心掛けること。
- * 参加した社会貢献活動：学生主催の地域の神輿活動に、留学生と率いて参加した。 役立った経験：日本人同士では当たり前の協調のしかたでは、うまくいかないことを経験しました。そこから、今ではより良好なコミュニケーション力とその場にあった協調のしかたを柔軟に考えられるようになりました。
- * 参加した社会貢献活動：留学生をホームステイ先で受け入れることです。 役立った経験：お世話をするということや、学生たちの国についてたくさん知ることができました。
- * 参加した社会貢献活動：留学生応援指導員、役立った経験：自分自身の経験で他の留学生に参考

・地域活動などの社会貢献活動

- * 参加した社会貢献活動：海のゴミ拾い。海の環境をきれいにすることに貢献 役立った経験：環境を守ることの大切さを学んだ
- * 参加した社会貢献活動：古城の修復や農作業の手伝い、役立った経験：国籍と年齢が異なるひとと共同生活を送るうえで、譲歩や議論をすること
- * 参加した社会貢献活動：障害者や障害児の世話やコミュニケーションをする活動で積極的にコミュニケーションをとり、彼らの生活を向上させたり、彼らの心に良い思い出を残すことができた。 役立った経験：人への対応力とチャレンジ精神を生かすことができた。
- * 参加した社会貢献活動：地域の防犯活動やごみの収集、役立った経験：人との交流が増えた。
- * 参加した社会貢献活動：老人ホームへの慰問コンサート。役立った経験：技術の向上、本物を提供する。
- * 参加した社会貢献活動：地域の人々と触れ合うボランティア。地区センターでスポーツ大会など。 役立った経験：積極的に人と接することが出来た。
- * 参加した社会貢献活動：ボーイスカウト日本連盟の行う海外のボーイスカウトの交流事業や外国のボーイスカウトを含む大会の企画運営、役立った経験：国際交流事業での人脈、プロジェクトを進めるに当たっての準備から実際の現地での活動、事後報告までのすべての経験

国際交流未経験者 意見例

・震災、災害での社会貢献活動

- * 震災ボランティア
- * 東日本大震災の気仙沼での災害ボランティア。泥除去・海岸清掃
- * 東日本大震災の災害復興ボランティアでがれきの片付け炊き出しの手伝い
- * 東日本大震災の時のボランティア、災害援助要員。被災者のカウンセリング、実態調査

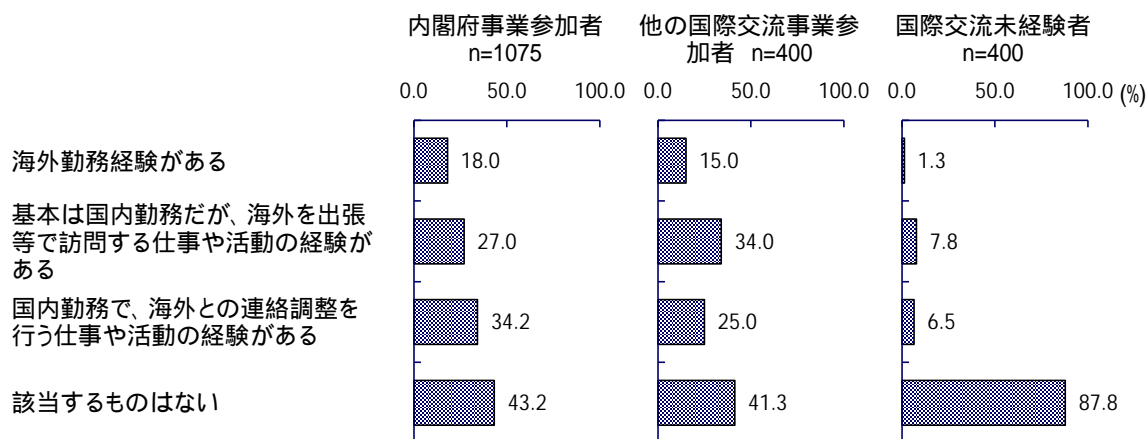
・地域活動などの社会貢献活動

- * ごみ清掃
- * フェスティバルで県外客の観光案内。
- * 高齢者施設訪問 話し相手
- * 小学校、中学校の授業や活動の一環で、福祉センターでお手伝いをしたり、夏祭り後のゴミ拾いを行った。
- * 筑波と越谷の竜巻被害のボランティア、東京湾清掃活動、地元自治会に参加しての沿道美化運動
- * 土手のゴミ集め
- * 富士山五合目の植樹活動
- * 学習補助、車椅子での移動介助、
- * 小学校の補習授業のボランティア

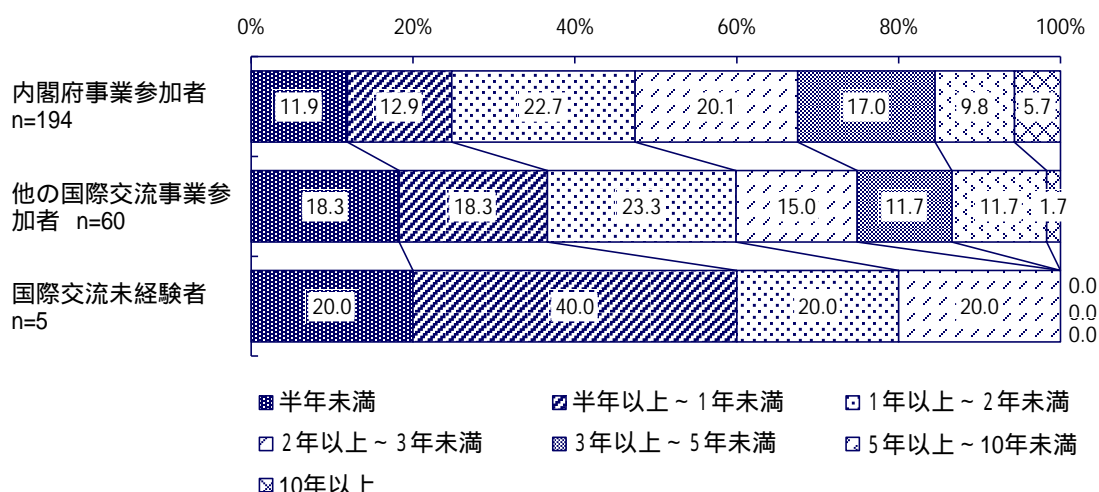
(4) 海外勤務その他グローバルな活動の経験

問 22 あなたは海外での勤務経験や、海外と接点がある仕事や仕事以外の活動の経験をお持ちですか。該当するものをお選びください。(複数選択可)

図表 6-7 海外勤務その他グローバルな活動の経験



海外勤務年数



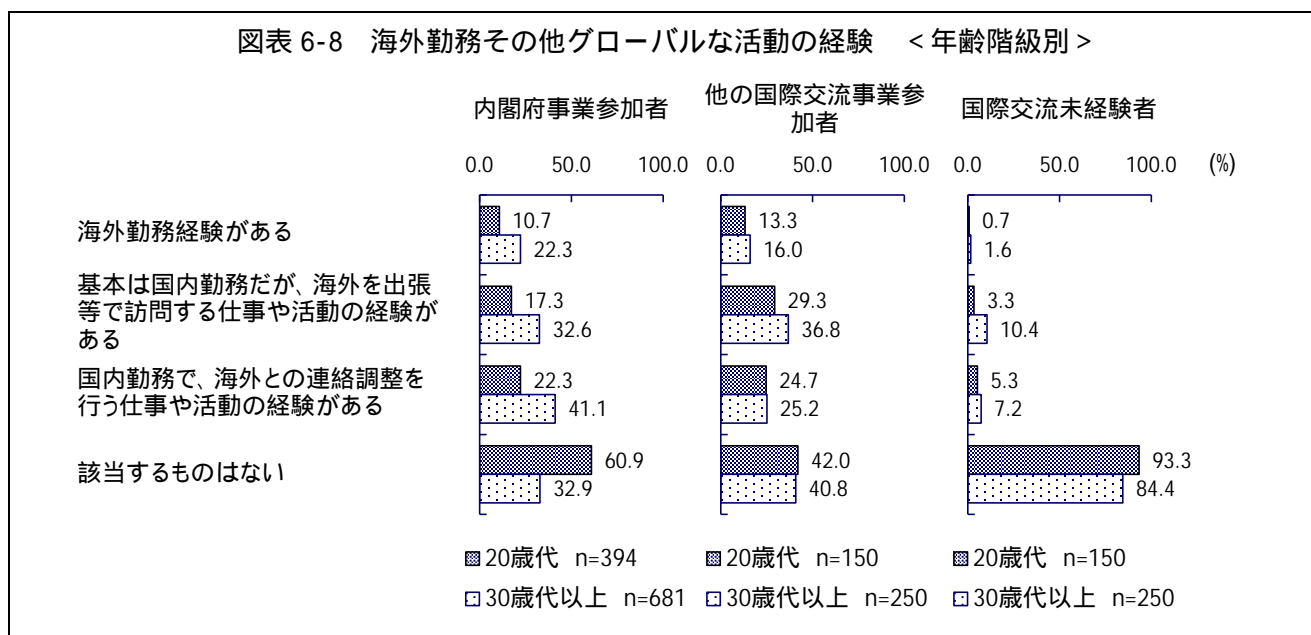
海外での勤務経験や、海外と接点がある仕事や仕事以外の活動の経験について聞いたところ、経験したことは内閣府事業参加者で「国内勤務で、海外との連絡調整を行う仕事や活動の経験がある」が34.2%、他の国際交流事業参加者及び国際交流未経験者で「基本は国内勤務だが、海外を出張等で訪問する仕事や活動の経験がある」が各34.0%、7.8%となっている。

海外勤務年数については、内閣府事業参加者は「1年以上～2年未満」が22.7%、他の国際交流事業参加者は「1年以上～2年未満」が23.3%と最も多くなっている。

< 検定結果 >

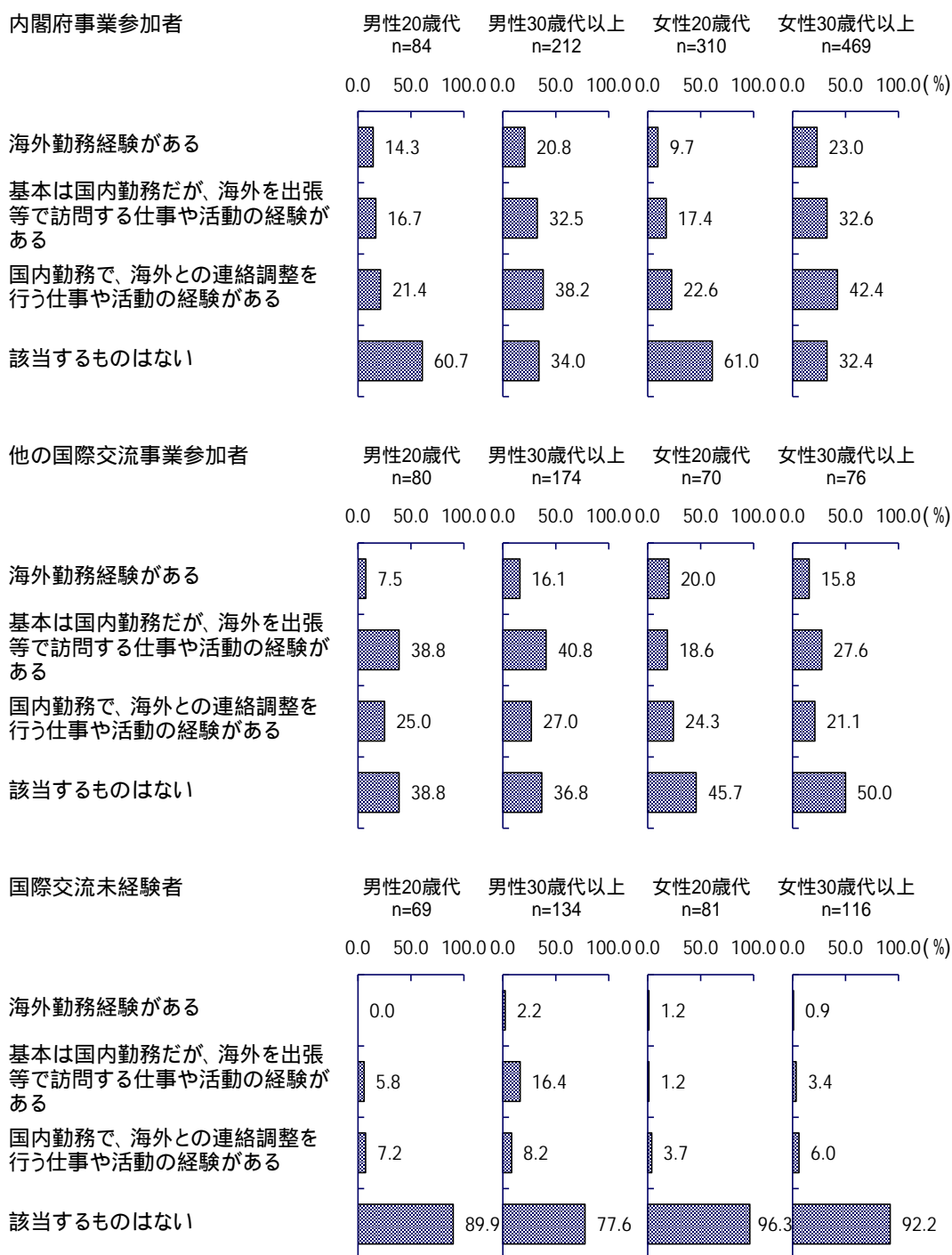
		内閣府 他の 事業	内閣府 未經 験者	他の事業 未 験者
図表 6-7	海外勤務経験がある		p < 0.01	p < 0.01
	基本は国内勤務だが、海外～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	国内勤務で、海外との連絡～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	該当するものはない		p < 0.01	p < 0.01

図表 6-8 海外勤務その他グローバルな活動の経験 < 年齢階級別 >



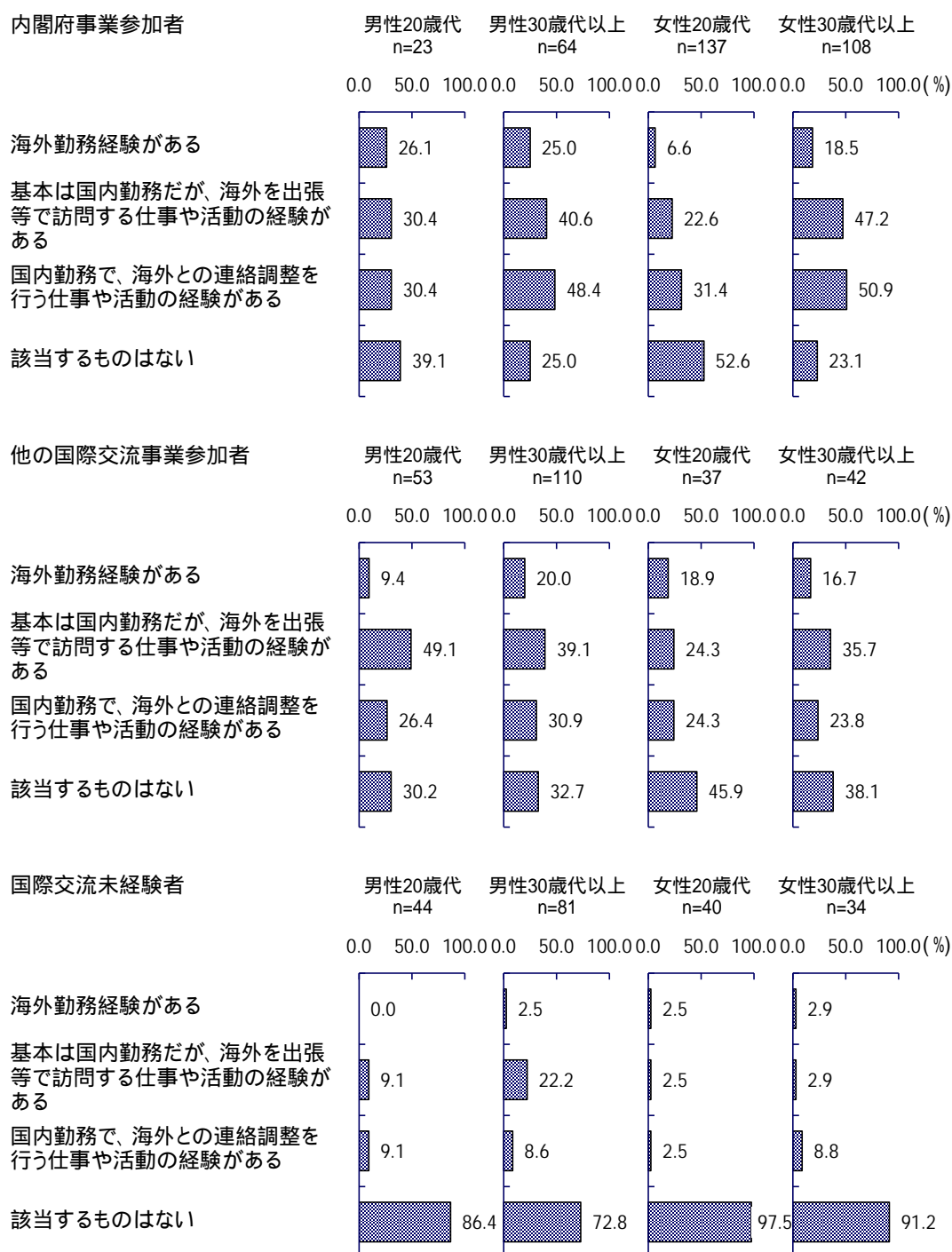
海外での勤務経験や、海外と接点がある仕事や仕事以外の活動の経験を年齢階級別にみると、内閣府事業参加者の30歳代以上で「国内勤務で、海外との連絡調整を行う仕事や活動の経験がある」が41.1%と割合が高くなっている。

図表 6-9 海外勤務その他グローバルな活動の経験 <性年齢別>



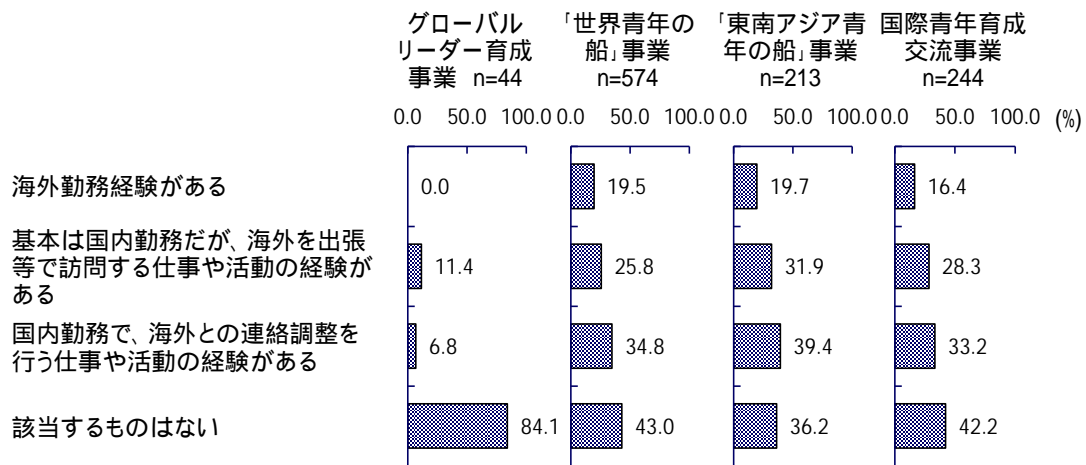
海外での勤務経験や、海外と接点がある仕事や仕事以外の活動の経験を性年齢別にみると、内閣府事業参加者の女性30歳代以上で「国内勤務で、海外との連絡調整を行う仕事や活動の経験がある」が42.4%と割合が高くなっている。

図表 6-10 海外勤務その他グローバルな活動の経験 < 性年齢別（民間企業勤務（正社員）のみ）>

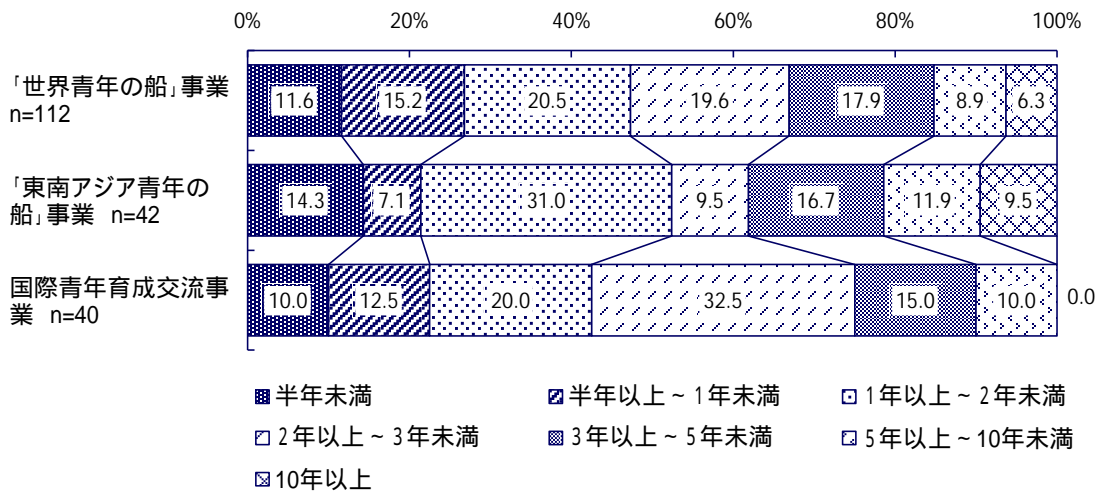


海外での勤務経験や、海外と接点がある仕事や仕事以外の活動の経験を性年齢別（民間企業勤務の正社員のみ）にみると、「国内勤務で、海外との連絡調整を行う仕事や活動の経験がある」は内閣府事業参加者の女性30歳代以上で50.9%と割合が高くなっている。また「基本は国内勤務だが、海外を出張等で訪問する仕事や活動の経験がある」は他の国際交流事業経験者の男性20歳代で49.1%と割合が高くなっている。

【内閣府事業参加者】 図表 6-11 海外勤務その他グローバルな活動の経験 <内閣府事業種類別>



海外勤務年数



グローバルリーダー育成事業の参加者で「海外勤務経験がある」を選択はなかった。

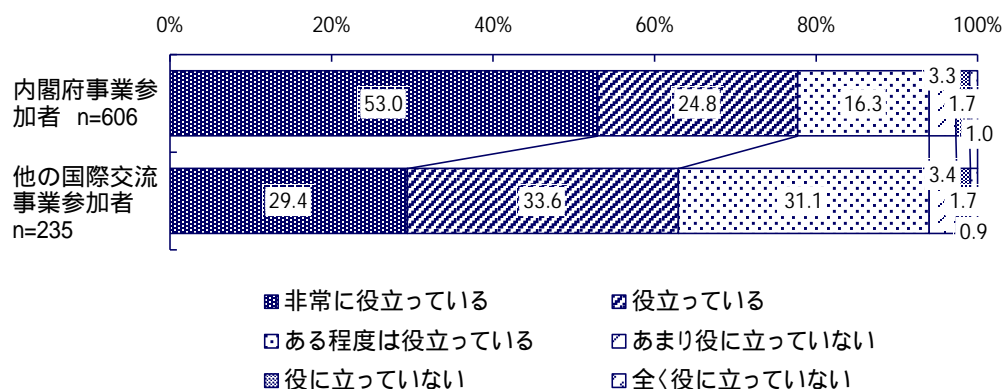
海外での勤務経験や、海外と接点がある仕事や仕事以外の活動の経験を内閣府事業種類別にみると、「国内勤務で、海外との連絡調整を行う仕事や活動の経験がある」は「世界青年の船」事業で 34.8%、「東南アジア青年の船」事業で 39.4%、国際青年育成交流事業で 33.2%となっている。

海外勤務年数は、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業で「1年以上～2年未満」、国際青年育成交流事業で「2年以上～3年未満」がそれぞれ最も多くなっている。

(5) 海外勤務その他グローバルな活動の経験に関して事業参加経験が役立っているか

問 23 【問 22 で 1 ~ 3 を選んだ方のみ回答】問 22 で選んだグローバルな仕事や活動の場において、事業に参加した経験が役立っていると思いますか。(1 は 1 つ)

図表 6-12 海外勤務その他グローバルな活動の経験に関して事業参加経験が役立っているか



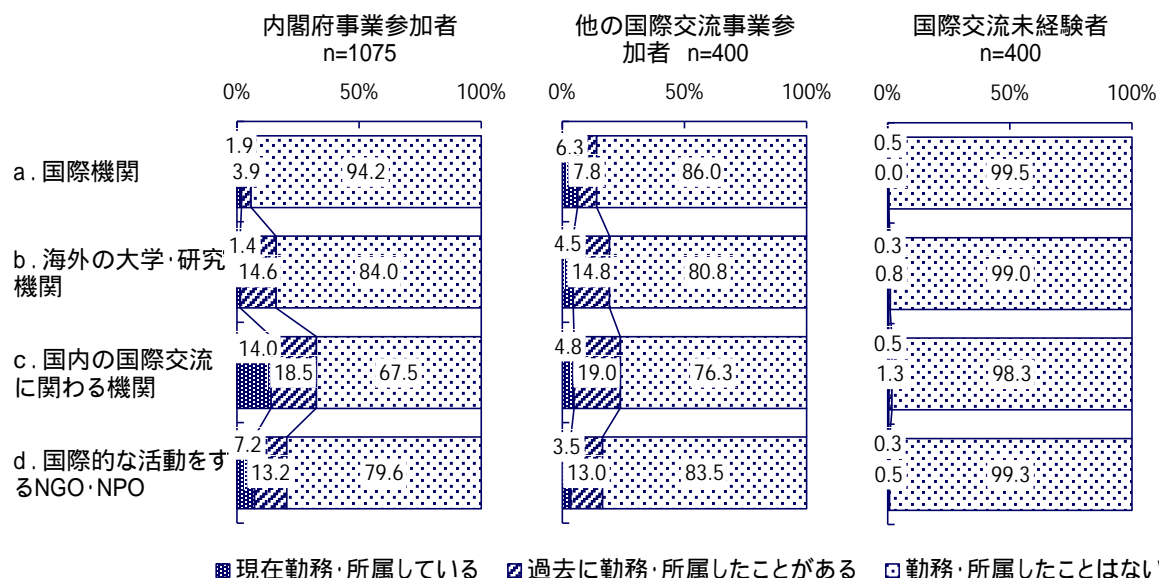
内閣府事業参加者以外調査票では、「内閣府事業に参加した経験」が「国際交流事業等に参加した経験」となり、「他の国際交流事業参加者」が対象。

グローバルな仕事や活動の場において、国際交流事業等に参加した経験が役立っていると思うか聞いたところ、「非常に役立っている」が内閣府事業参加者で 53.0%、他の国際交流事業参加者で 29.4%、「役立っている」を合わせると各 77.7%、63.0%となる。

(6) 国際的な機関・団体への勤務・所属の経験

問 24 あなたは下記のような機関・団体に1年以上勤務または所属した経験がありますか。下記 a から d に挙げる項目について、該当するものをそれぞれ1つお選びください。

図表 6-13 国際的な機関・団体への勤務・所属の経験



国際的な活動をする機関・団体に1年以上勤務または所属した経験があるか聞いたところ、『a. 国際機関』に「現在勤務・所属している」は、内閣府事業参加者が1.9%、他の国際交流事業参加者が6.3%、国際交流未経験者が0.5%で、「過去に勤務・所属したことがある」を合わせると各5.8%、14.0%、0.5%となっている。

『b. 海外の大学・研究機関』に「現在勤務・所属している」は、内閣府事業参加者が1.4%、他の国際交流事業参加者が4.5%、国際交流未経験者が0.3%で、「過去に勤務・所属したことがある」を合わせると各16.0%、19.3%、1.0%となっている。

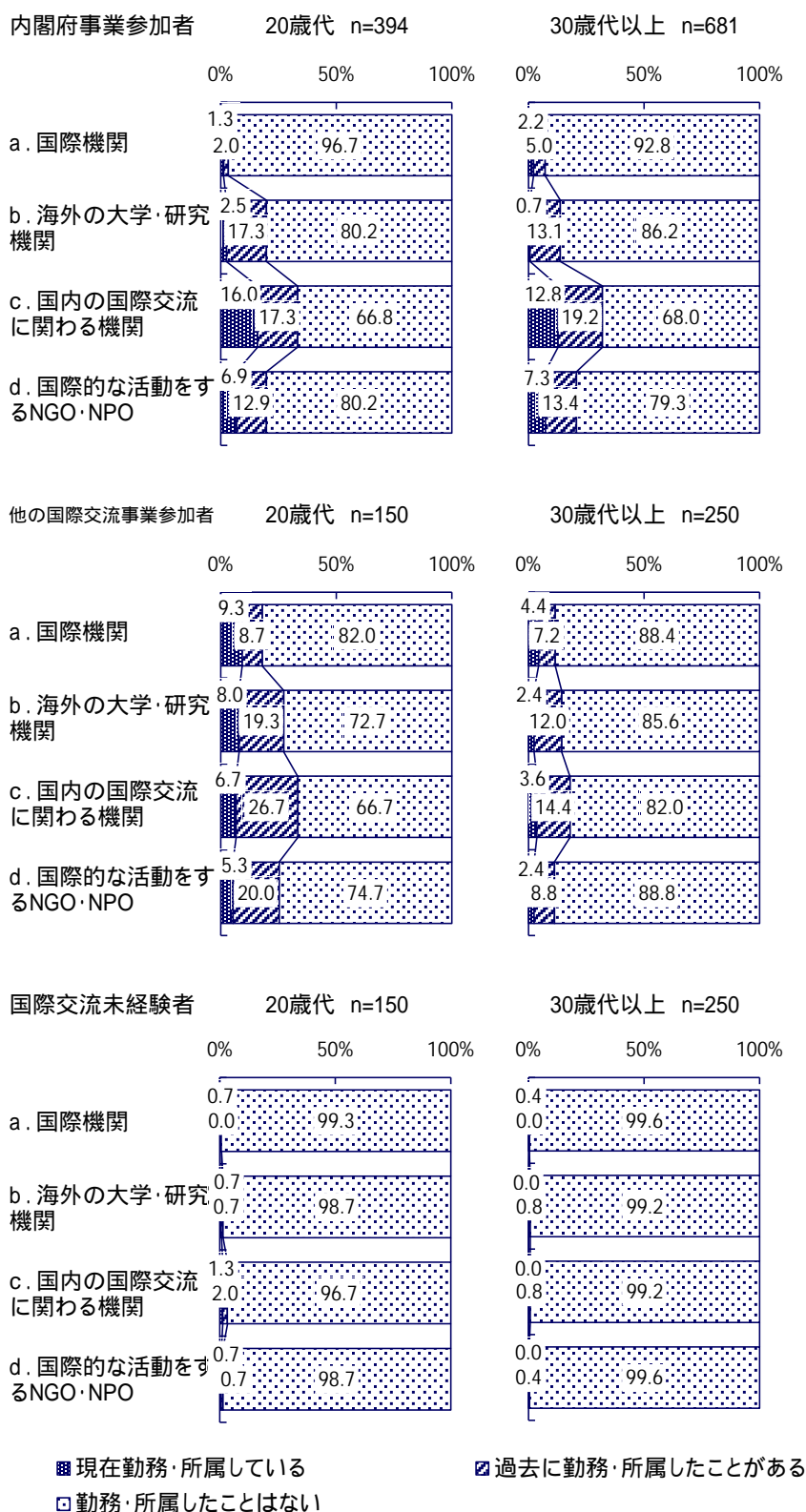
『c. 国内の国際交流に関わる機関』に「現在勤務・所属している」は、内閣府事業参加者が14.0%、他の国際交流事業参加者が4.8%、国際交流未経験者が0.5%で、「過去に勤務・所属したことがある」を合わせると各32.5%、23.8%、1.8%となっている。

『d. 国際的な活動をするNGO・NPO』に「現在勤務・所属している」は、内閣府事業参加者が7.2%、他の国際交流事業参加者が3.5%、国際交流未経験者が0.3%で、「過去に勤務・所属したことがある」を合わせると各20.4%、16.5%、0.8%となっている。

< 検定結果 >

		内閣府 他の事業	内閣府 未経験者	他の事業 未経験者
図表 6-13	a . 国際機関	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	b . 海外の大学・研究機関	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	c . 国内の国際交流に関わる機関	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	d . 国際的な活動をするNGO・NPO	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01

図表 6-14 国際的な機関・団体への勤務・所属の経験 <年齢階級別>



国際的な活動をする機関・団体に1年以上勤務または所属した経験を年齢階級別にみると、『c. 国内の国際交流に関わる機関』に「現在勤務・所属している」は、内閣府事業参加者の20歳代で16.0%、30歳代以上で12.8%などとなっている。